



PUNK: Jorg Baumann©

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるパブリック・トーク

FLAGS 欧州で活躍する振付家、新作の構想を語る

2018年10月31日(水) 19:00-20:30 / 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6) / 参加無料

ポップカルチャーや日常生活に内在するダンスを視覚化する作品を創作する振付家、パウラ・ロソレンによるパブリック・トーク。演劇とインスタレーション・パフォーマンスの境界を模索し、手旗信号やカラーガード等のリサーチを振付に応用する新作の構想と創作のプロセスを紹介します。

■ 申込方法 : Email または電話でお申し込みください。

Email: Paula2018@saison.or.jp 電話: 03-5624-5951 (森下スタジオ受付:10:00-21:00)

* 件名を、「10月31日パブリック・トーク申込み」とし、本文に ①お名前②職業

③参加人数④連絡先⑤このイベントをどのようにお知りになったかをご記入ください。

■ 森下スタジオへのアクセス

地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」 A6 出口 徒歩 5分

東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」 A2 出口 徒歩 10分



パウラ・ロソレン Paula Rosolen

キュンストラハウス・ムーゾントウムやゾフィエンゼーレ、パリ市立劇場等、ヨーロッパの主要な劇場やフェスティバルで作品を発表している。主な作品にエアロビクスをテーマにダンス、振付との関係を模索した『Aerobics! – A Ballet in 3 Acts』(2015) や文楽や獅子舞、人形浄瑠璃を取り上げ、人形遣いの動きに着目した『Puppets』(2016) がある。また、2018年6月、キュンストラハウス・ムーゾントウムで最新作『PUNK?』を発表した。

日本では、2016年にヴィラ鴨川に滞在し、文楽や獅子舞を研究。2017年に京都国際ダンスワークショップフェスティバル、2018年にあうるすぽっとでワークショップを実施。Dance New Air 2018で、『Aerobics! – A Ballet in 3 Acts』を発表する予定。



平成30年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」